

第19回つやまロボットコンテスト 狙えフラッグ!!雪合戦ロボコン

高校一般の部 Q & A

Q1：打ったボールが壁などに当たって、間接的に相手を攻撃する形になってもそれは有効か。

A1：有効です。

Q2：破損等で試合中にサイズ制限を超えた場合の扱いはどうなるか。

A2：破損により競技に支障がなければ、そのまま続行します。競技に支障があると判断した場合、取り外す等を指示し、競技に支障がない状態にしたのち、競技を続行します。

なお、故意にはずれやすくしていると審判が判断した場合は、ルールブック 4-9-2(3)の規定により反則行為の対象となるためご注意ください。

Q3：ルールブック 3-1-5「プレートより上」の詳しい定義について。

(ア) プレートの直上なのか。

(イ) ロボット全体での話なのか。

A3：(イ) の考え方になります。

Q4：プレートの位置は試合中、前後移動や回転させてよいのか。

A4：ルールブック 3-1-3 にあるロボットの大きさ要件を満たす範囲であればかまいません。

Q5：ロボットが場外に出た場合の扱いはどうなるか。

(ア) リスタートをかけなければならないのか。

(イ) それ以外の処置か。

A5：(イ) の考え方を採り、主審の指示に従うものとします。なお、競技フィールドをフィールド面から高さ 1000 mmの支柱を立て、周囲をネットで囲みます。(ルールブックに“ ネットで囲む ”旨の記載はありませんので、ルールブックを改訂します)

Q6：相手に反則を誘発する行為とは、どのようなことを言うのか。

具体例：こちらからどれくらい相手に近づいてよいのか。

A6：相手の進路を故意に塞ぐ行為等アイデアマンシップに欠ける行為を指します。

Q 7 : 重量にターゲットは含むか。

A 7 : 含みません。(ルールブック 3-1-8)

Q 8 : フライングを繰り返した場合、罰則はあるか。

A 8 : フライングが繰り返される場合、主審により失格行為(ルールブック 4-10-1 (4) 審判の注意や指示に従わない。)と認定される恐れがあります。

Q 9 : ピンポン玉が試合中破損した場合のあつかい。

A 9 : 破損した「雪玉」を交換します。破損の認定、交換するタイミング等は主審が判断します。

Q 10 : ターゲットの下に磁石を追加して良いか。

発射機構等に利用している場合はどうなのか。

A 10 : 磁石の追加は、ターゲットが倒れにくくなる(倒れない)行為になるため、認めません。

発射機構等に磁石を用いる場合、プレート及びターゲットに影響を与えないよう設計してください。

Q 11 : ジャンプして良いか。

A 11 : かまいません。ただし、フィールド床面を破損しないようにするとともに、会場床面からの天井高は約3 2 0 0 mm及び2 7 0 0 mmであることも留意してください。

Q 12 : 相手の過失(衝突等)でターゲットが倒れた場合の処置はどうなるのか。

A 12 : 主審が競技を中断(ルールブック 4-6)しますので、審判の指示に従ってください。

Q 13 : 風(空気砲等)で相手のターゲットを倒して良いか。

A 13 : ターゲットは、『「雪玉」を打ち出し、相手フォワードロボットに付いている「ターゲット」4個を倒す。(ルールブック 4-5-1)』と規定していますので、打ち出した「雪玉」以外の方法でターゲットを倒すことは認めません。

Q 14 : プレートの取り付けはフォワードロボットのみか。バックスロロボットに取り付けるのか。

A 14 : プレートの取り付けは、フォワードロボットのみです。

Q15：無線 LAN は使えますか。

A15：ルールブック 3-1-2 にて「電波・赤外線・可視光等を用いて遠隔操縦するもの、またはパーソナルコンピュータ・マイクロコンピュータを搭載した自律型とし、ケーブルなどで外部と接続せずに動作できるものとする。各手法を組み合わせてもよいが、操縦にあたっては、相手チームと混信しないよう工夫を行うこと。」と規定しており、無線 LAN は使用可能です。なお、会場内では電子機器類、携帯電話及び無線機器類の使用制限は行わないので、影響を受けないようにご注意ください。

Q16：ルールブック 4-5-1 「フラッグ」の抜き取りについて、「フラッグ」が筒から抜けた状態とはどのような状態か。「フラッグ」が床に落ちていてもよいのか。

A16：「フラッグ」を「フラッグホルダー」から抜き取りさえすれば、ロボットが「フラッグ」を保持していなくてもかまいません。「フラッグ」が床に落ちてでも大丈夫です。

Q17：相手チームから飛んできた「雪玉」を、風を使って防いでもよいのか。

A17：かまいません。

Q18：自分のチームの「フラッグ」をフォワードロボットで囲んで、相手チームに「フラッグ」を抜き取られないように防御してもよいのか。

A18：「フラッグ」をロボットで囲うことは戦略の1つとも言えますが、ルールブック 4-5-1 に規定するフォワードロボットの動きから鑑みると、消極的な行為とも取れるものです。

「フラッグ」を囲ったまま自分のロボットの「ターゲット」を全て倒された場合、ロボットはその場で停止することになり（ルールブック 4-5-3）、その後の競技では相手チームの障害となるので、審判が撤去を命じることも考えられます。

Q19：バックスロボットは、配置場所内なら移動してもいいのか。

A19：バックスロボットは、スタート前に配置してから移動してはいけません。（ルールブック 4-5-1）

Q20：シェルターの形状はどのようなものか。また、ロボットが登っても倒れないか。

A20：シェルターの形状は、合板でできた直方体で競技フィールドに固定します。また、ロボットが登っても壊れない強度を確保するように、製作者に依頼します。

Q 2 1：競技フィールド内にある「雪玉」32個を独占して使っていいのか。

A 2 1：「雪玉」を全て取り込むのはかまいません。ただし、「雪玉」を取り込んだままで「雪玉」を打ち出さない場合には、審判が消極的行為と判断する可能性があります。

Q 2 2：ルールブック 4-5-2 について、『「ターゲット」のマグネット部分がプレートからはみ出す』とはどのような状態をいうのか。

A 2 2：「ターゲット」がプレート以外の部分に接地した状態です。「ターゲット」がプレートからはみ出しているだけで、他の部分に接地していない状態であれば、まだ相手チームの得点にはなりません。

Q 2 3：ルールブック 4-5-3 について、フォワードロボットはターゲット 4 個すべてが倒されるとその場で停止することが求められているが、「雪玉」の打ち出しも禁止か。

A 2 3：停止とは、移動だけではなく「雪玉」の打ち出しも含めています。よって、「雪玉」の打ち出しは禁止です。